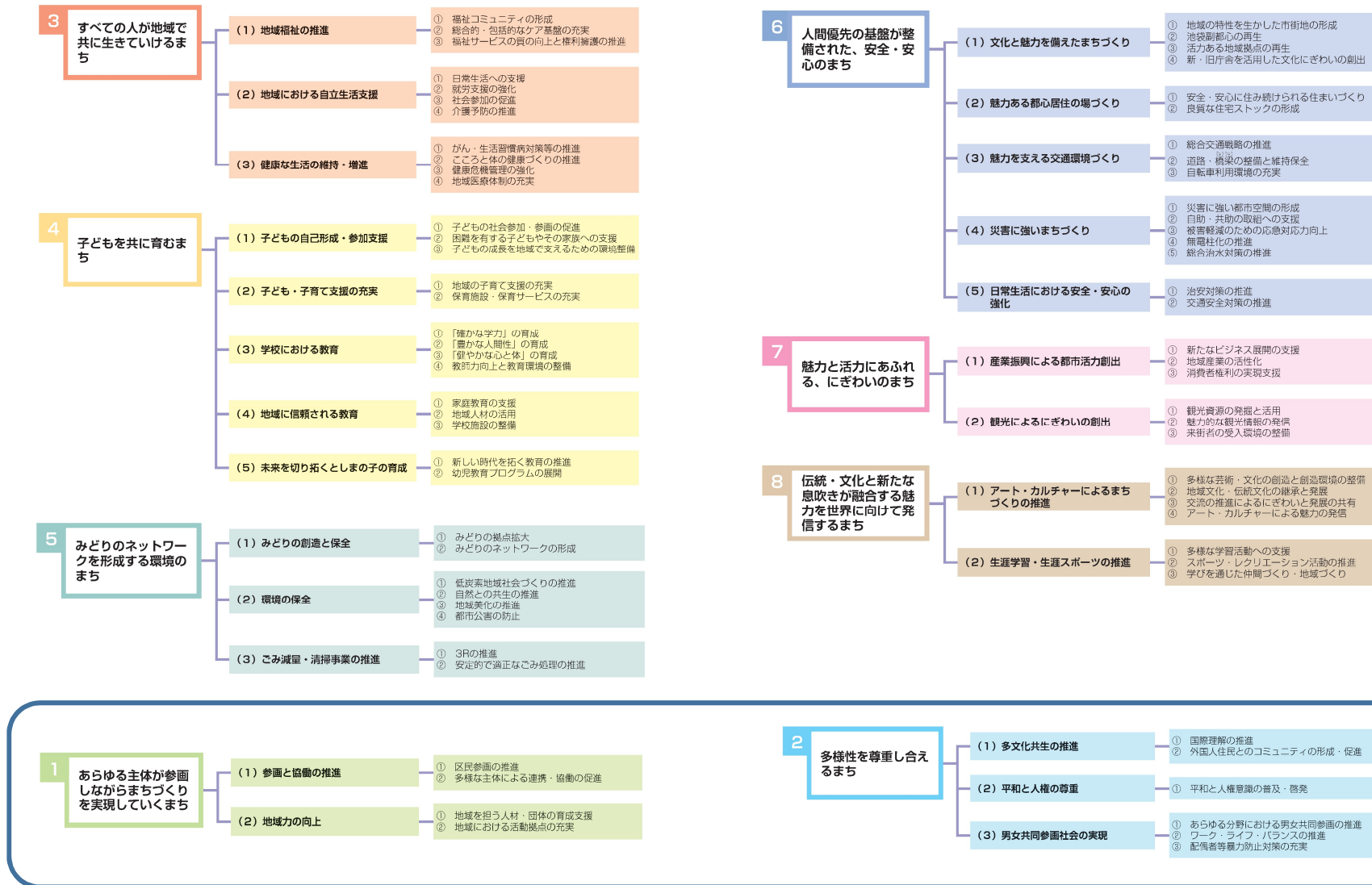


政策・施策の体系について

資料3-3



地域づくりの方向1・2をすべての政策の土台として位置づけることを検討

政策・施策体系の再検討

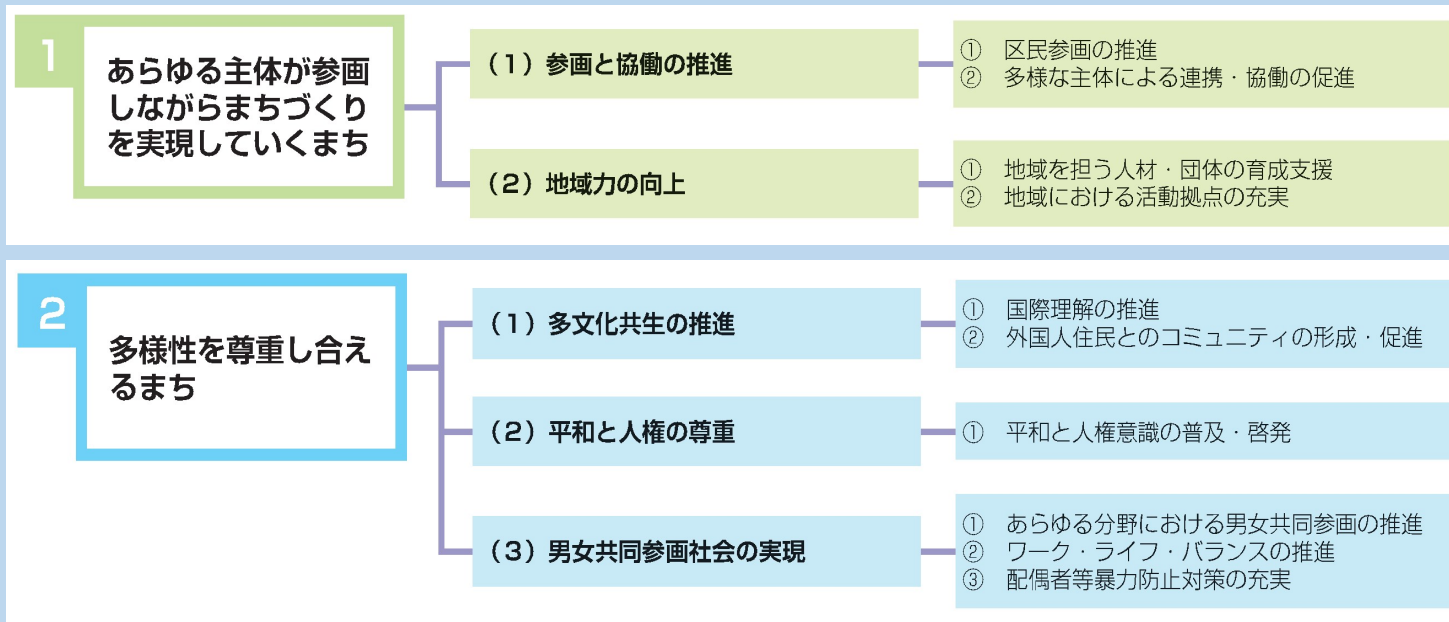
【意見】

- ◆目的と手段、分野横断的な関係から、体系全体を見直してはどうか
(原田会長・蟹江副会長 等)



【論点】

- ◆地域づくりの方向1と2をすべての政策の土台に位置付けた場合



⇒ 紐づく施策が多岐に渡り、非常に大きな施策となる（組織にも影響あり）。

⇒ 一方で、地域づくりの方向3～8についても組織横断的な要素はある。

【体系の整理の基本的な考え方】

- ◆地域づくりの方向1と2は単なる手段ではなく、目的としての意味がある。現状の地域づくりの方向は、もともと**分野別の各論部分**を示すものであり、以下の内容を**主たる目的とする施策**が位置づけられている。そのため、分野横断的な戦略は、**第1編総論部分**で示すべきと考えられる。

1-1	1-2	2-1	2-2	2-3
参画と協働の推進	地域力の向上	多文化共生の推進	平和と人権の尊重	男女共同参画社会の実現

◆対応1

「参画と協働の推進」は、基本構想の第一方針であり、区政運営やSDGs推進の特に重要な要素であるため、**総論に横断的な戦略として位置づける。**

現状でも記載はあるが、「多文化共生の推進」、「男女共同参画社会の実現」の意味を加えて、バージョンアップする。

※「地域力の向上」と「平和と人権の尊重」は、各論の要素が強いため、横断的な戦略とまでは位置付けない。

◆対応2

上記を主たる目的とする施策を精査し、施策の内容等を再検討する。